

豪州のワイナリーを約2000万円ですべて所有。利回り5%で夢のある投資が実現！

豪ドル債が人気だ。地下資源や自然に恵まれた国がオーストラリア。年5%の年金型商品もあるという。

豪ドル債が人気を集めているとはいえ、投資先としては未知数のオーストラリア。コアラとカンガルーくらいしか頭に浮かばないという人も多いかもしれないが、広大な土地と資源に恵まれ、投資対象としてもさまざまな魅力を秘めているという。

新たな投資先として魅力が広がる大陸！

「パースを州都とするオーストラリア州は、オーストラリア国内で最も急速な成長を示しているところ。過去10年間オーストラリアの輸出を常にリードしており、『成長のエンジン』といわれています。リサーチ会社の調査によると、今後10～15年間の経済成長率は3～5%以上となっています」

と語るのはオーストラリア在住の鈴木竜一郎氏。鈴木氏は



A. Kanazawa

「オーストラリアは気候も安定しており、ワイナリー経営は比較的风险が小さい」と言う鈴木氏

日豪両国でFP資格を持つっており、日本人向けに投資環境の紹介やリサーチを行なっている。

オーストラリア経済のパックボーンは、伝統的に鉱工業と農業。その中で鈴木氏が注目するのは、ワイナリーだ。

「オーストラリア・ワインというイメージがあるかもしれませんが、オーストラリアは高級ワインの産地として定評があります。たとえばパースから車で約3時間のところにあるマーガレット・リバーという地域は、日本ではまだほとんど知られていませんが、ヨーロッパでは高品質のワインを生産することで注目されつつある場所です」(鈴木氏)

この地域のワイナリーは、ブドウ畑とワインの製造工場などを合算し200万豪ドル(約1億4000万円)程度が相場。

「ブドウ畑の権利を分割して持つ、区分所有という方法があります。これならば、27万豪ドル(約2000万円)くらいです

ね。この場合、年間2万豪ドル程度の管理費で管理してくれ

ますし、共同使用できる製造工場

をつくらせてもらうこと

も可能です。今のところ投資に

対して年約5%の利益を上げて

いますが、これは、収穫したブ

ドウを近隣のワイナリーに販売したり、搾ったワインを業者に流すなどした場合、販路を確保して自社ブランドで製造すれば、さらなる利益率も期待できます」(鈴木氏)

少額の金融商品から始める手もある。

ワイナリーには宿泊のための施設も用意されており、別荘代わりにも利用できるという夢のある話。しかし、現実的にそこまでできないという人には、裏ワザ的な投資法もある。

「向こうでは『アニユイティ』と呼ばれる金融商品がありま

す。日本語にすると年金型定期預金となるのでしょうか。厳密に言うと預金ではない商品で、

現地の生命保険会社を取り扱っています。期間は1～15年もの

があり、最低額は2万豪ドル。利回りは現在一番利回りのいいもので10万豪ドル5年満期で年5%

くらいです。日本に住んでいても開設できますし、その場合、

オーストラリアでは課税されま

せん。日本で利子所得として課税されても税金は20%です」(鈴木氏)

マーガレットリバーは観光地としても人気があり、地価はやや高めだが下落もしにくい。ホームページは<http://www.japan-australia-settlements.com>にも紹介されているので、参照してほしい



要するに、手取り金利が4%ということ。しかも通貨分散にもなることを考えると、なかなかうまみのある話かも。

「行ったこともない土地に大きな投資をするのは抵抗があるかもしれませんが。アニユイティに10万豪ドル投資すれば金利は約4000豪ドル。そのお金で、まずパースに遊びに来てみてはいかがでしょうか」(鈴木氏)